

事後評価結果（平成26年度）

担当課：東北地方整備局道路計画第一課
 担当課長名：米澤 明男

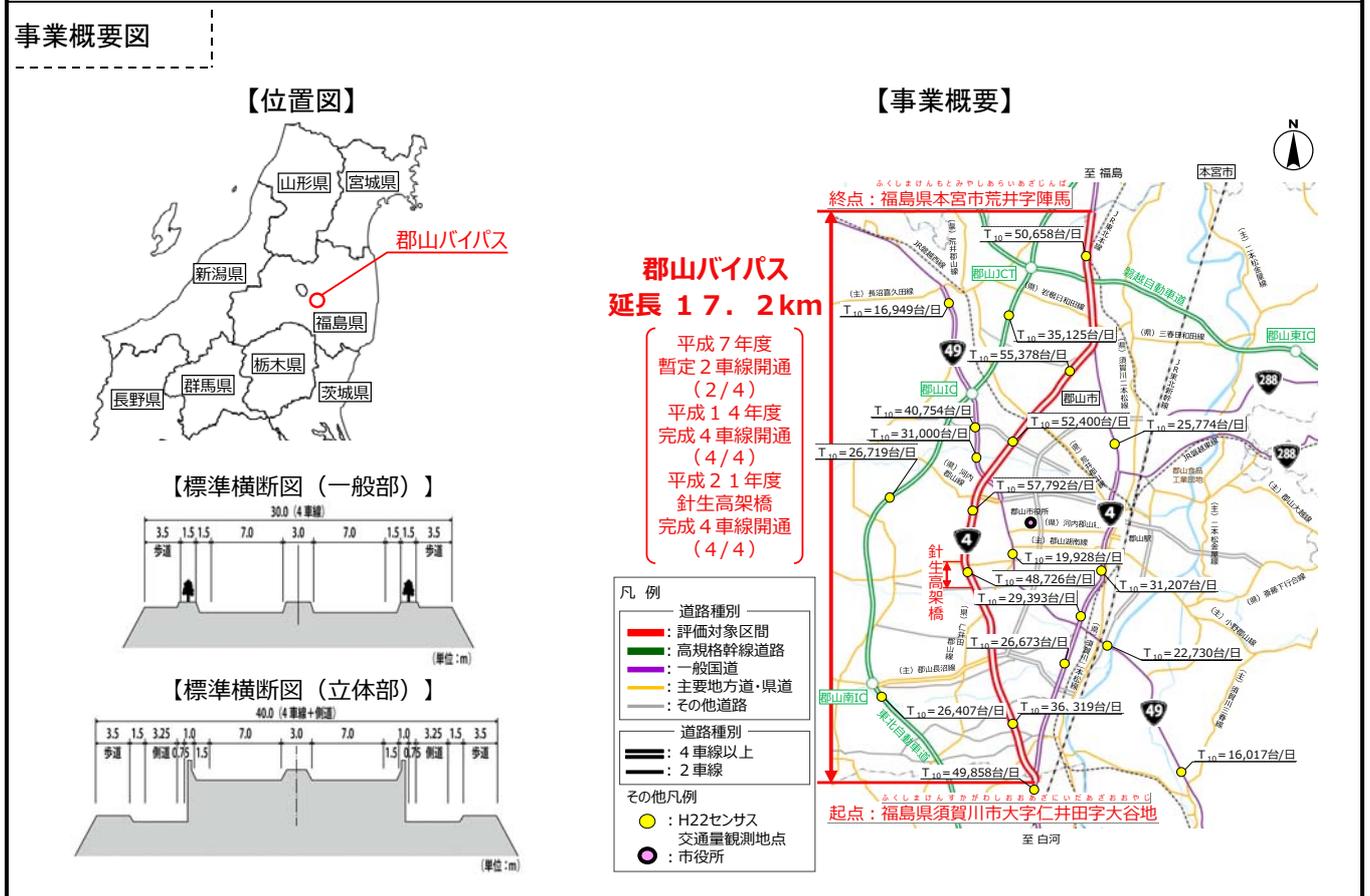
事業名	一般国道4号 郡山バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県須賀川市大字仁井田字大谷地 至：福島県本宮市荒井字陣馬			延長	17.2km

事業概要

国道4号は、東京都中央区から青森県青森市に至る延長約889kmの主要な幹線道路である。
 郡山バイパスは、福島県須賀川市大字仁井田字大谷地から同県本宮市荒井字陣馬に至る延長17.2kmの4車線道路であり、平成21年度に全線4車線で開通している。

事業の目的・必要性

一般国道4号郡山バイパスは、郡山市内における国道4号の交通混雑緩和や交通安全の確保、郡山都市圏の産業振興による地域活性化の支援等を目的とした事業である。



事業の効果等	事業期間	事業化	昭和三十九年度	用地着手	昭和三十九年度	供用年	(当初) - / -	変動	一倍
		都市計画決定	平成6年度	工事着手	昭和50年度	(暫定/完成)	(実績) H7/H21		
事業の費用	事業費	計画時	(名目値) - / 1,003億円	実績	(名目値) - / 970億円			変動	一倍
		(暫定/完成)	(実質値) - / 2,843億円	(暫定/完成)	(実質値) - / 1,132億円				
交通量	交通量	計画時	(H20再評価時)	実績	(H26)			変動	3.6%
	(当該路線)	(暫定/完成)	- / 58,000台/日	(暫定/完成)	- / 60,100台/日				
旅行速度	旅行速度向上		19.6km/h → 25.8km/h	交通事故減少		188件/年 → 171件/年			
	(供用前現道→当該路線)	(供用前年次) H6年度	(供用後年次) H26年度	(供用前現道→供用後現道)		(S52)	(H25)		

事業 の 効 果 等	費用対効果 分析結果 (再評価)	B/C 1.8	総費用 164億円 事業費：160億円 維持管理費：4.1億円	総便益 291億円 走行時間短縮便益：185億円 走行経費減少便益：69億円 交通事故減少便益：37億円	基準年 平成20年
	費用対効果 分析結果 (事後)	B/C 2.6	総費用 2,120億円 事業費：1,960億円 維持管理費：160億円	総便益 5,476億円 走行時間短縮便益：4,894億円 走行経費減少便益：340億円 交通事故減少便益：242億円	基準年 平成26年
	事業遅延によるコスト増	—	費用増加額 —	便益減少額 —	
事業遅延の理由 ・特になし					
客観的評価指標に対応する事後評価項目 ①円滑なモビリティの確保 ・現道の渋滞損失時間（整備前）568万人・時間/年 → （整備後）373万人・時間/年 ②個性ある地域の形成 ・須賀川市から郡山市総合地方卸売市場へのアクセス向上（整備前）25分 → （整備後）19分 ③安全で安心できるくらしの確保 ・須賀川市から太田西ノ内病院（三次医療施設）間の所要時間短縮（整備前）37分 → （整備後）27分 ④生活環境の改善・保全 ・国道4号三春街道入口交差点における夜間交通騒音値の低減（整備前）79dB → （整備後）68dB					
事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目 ・完成後の騒音測定値は改善傾向を示しているが、国道4号（昼間/夜間）は環境基準値を超過している状況				
	その他評価すべきと判断した項目 ・特になし				
事業評価監視委員会の意見 ・事業当初の目的に対し効果が発現しており、対応方針（案）どおり、「今後の事後評価及び改善措置の必要はない」は妥当					
事業を巡る社会経済情勢等の変化 ○道路整備の状況 S48.11.26 東北縦貫道（白河IC～郡山IC）開通 S50.4.1 東北縦貫道（郡山IC～白石IC）開通 H7.8.2 磐越道（郡山JCT～いわきJCT）開通 H7.12.26 国道4号（須賀川拡幅）全線開通 H9.10.1 磐越道（郡山JCT～新潟中央IC）開通 H21.3.30 国道4号（本宮拡幅）全線開通 H22.12.21 （都）内環状線（郡山長沼線接続部～国道288号富久山B P接続部）全線開通 ○その他の状況 S57.6.23 東北新幹線 開業 H5.3.20 福島空港 開業 H9.4.1 郡山市 中核市に指定					
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 ・事業当初の目的に対し効果が発現しており、今後の事後評価及び改善措置の必要はないと考える。					
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 ・特になし					
その他特記事項 ・特になし					

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。